

平成28年度 経営発達支援事業実施状況一覧(H28年4月～H29年3月分)

柏商工会議所

大項目	中項目	小項目	事業内容	実施状況	実施時期	達成度	担当部所	備考	
I 経営発達支援事業の内容	1. 地域の経済動向調査		柏市内156事業所に対して地域の景気動向調査・分析・現況コメント聴取を毎月実施	毎月156事業所に対して地域経済動向を調査・分析及びコメント聴取を実施	H28.4～H29.3	100%	中小企業相談所		
			地域の景気動向情報の提供	会報誌への掲載、当所HPによる開示、常議員会での報告を毎月実施	H28.4～H29.3	100%	中小企業相談所		
	2. 経営状況の分析		柏市中小企業資金融資制度を通じた経営状況ヒアリング実施(年間目標200件)	柏市中小企業資金融資調査ヒアリング105件実施(推薦金額103,700万円)	H28.4～H29.3	53%	中小企業相談所		
			マル経融資制度を通じた経営状況ヒアリング実施(年間目標100件)	マル経融資調査ヒアリング49件実施(推薦金額33,149万円)	H28.4～H29.3	49%	中小企業相談所		
			マル経融資・柏市中小企業融資・当所専門相談員活用による経営分析(年間目標20件)	H28年度 経営分析実施件数49件	H28.4～H29.3	100%超	中小企業相談所		
			経営分析対象先抽出のためのセミナー開催(年間目標2回)	無し	—	0%	中小企業相談所		
			専門家と連携した経営課題の解決策策定(年間目標7件)	H28年度 経営課題解決策策定15件	H28.4～H29.3	100%超	中小企業相談所	専門相談・商工調停士	
	3. 事業計画策定支援	A. 小規模事業者の事業計画策定支援		当所会報誌・ホームページの周知による対象小規模事業者所掘り起こしと策定支援	当所会報誌への掲載、ホームページによる周知の実施	H28.4～H29.3	100%	中小企業相談所	
				当所経営指導員の窓口・巡回指導による対象小規模事業者所掘り起こしと策定支援	H28年度 小規模事業者に対する巡回指導1,102件、窓口指導1,234件	H28.4～H29.3	61%	中小企業相談所	
				事業計画策定セミナー・個別相談会による事業計画策定支援(セミナー年間目標3回)	H28年度 事業計画策定支援セミナー・個別相談会 計30回開催	H28.4～H29.3	100%超	中小企業相談所	
				経営分析・融資調査・各種補助金申請時等に事業計画策定支援を実施した事業者数(年間目標60件)	H28年度 事業計画策定支援実施事業者数78件	H28.4～H29.3	100%超	中小企業相談所	
				(新設)小規模事業者経営発達支援融資制度の活用	無し	—	0%	中小企業相談所	
				麗澤大学との連携に基づく研修プログラム実施による計画策定支援	無し	—	0%	中小企業相談所	
		B. 創業支援		創業フェアの開催とワンストップ個別相談会の開催(目標:年2回開催)	個別相談会2回開催	H28.4～H29.3	100%	中小企業相談所	
				創業塾(5回シリーズ)の開催(目標:年2回開催)	創業塾2回開催(各5回シリーズ) 合計44名出席	H28.4～H29.3	100%	中小企業相談所	
				市内商店会空き店舗見学ツアー(説明会)の開催(目標:年2回開催)	無し	—	0%	中小企業相談所	
			創業支援者数(目標:120者)	H28年度 創業支援者数149者	H28.4～H29.3	100%超	中小企業相談所		
	4. 事業計画策定後の実施支援		国県等の制度活用・融資斡旋や販促メニュー活用による支援(フォローアップ目標事業所数70件)	H28年度 事業計画策定後のフォローアップ事業者数 41件	H28.4～H29.3	59%	中小企業相談所		
			事業計画策定事業者への巡回指導等による進捗確認・フォローアップ延べ回数(目標:210回)	H28年度 事業計画策定後の事業者フォローアップ回数91回	H28.4～H29.3	43%	中小企業相談所		
			創業者への個別フォローアップ、創業塾卒業生に対するフォローアップ講座の開催	創業塾フォローアップ講座2回開催	H28.4～H29.3	100%	中小企業相談所		
			経営革新認定申請セミナー・個別相談会による計画策定支援(目標:計画策定者数3件)	無し	—	0%	中小企業相談所		
	5. 需要動向調査		地域の景気動向調査・分析・現況コメント聴取と地域の景気情報提供を毎月実施	毎月156事業所に対して地域経済動向を調査・分析、会報誌等への掲載・情報提供	H28.4～H29.3	100%	中小企業相談所		
	6. 新たな需要の開拓に寄与する事業		当所会報誌を活用した販路開拓支援サービス事業の実施(年4回実施 掲載事業者目標140社)	マルチチケットの名称で自店サービス内容等をマップ付で掲載 年4回実施 掲載事業者171社	H28.4～H29.3	100%超	中小企業相談所		
			各種展示会への共同出展による需要開拓、販路拡大(年2回、参加事業所目標14社)	エヌプラス10社出展、メドテックジャパン5社出展、計15社出展	H28.4～H29.3	100%	業務部		
			当所HPを活用した展示会サイトによる情報提供と出展費用助成(助成事業所目標12社)	H28年度 出展費用助成6社	H28.4～H29.3	50%	業務部		
			東葛工業人交流会時の大手企業との個別商談会の実施(交流会参加事業所目標110社)	東葛工業人交流会参加事業所83社	H28.4～H28.12	75%	業務部		
			医療産業系新分野参入に特化した個別商談会による新分野進出(参加事業所目標14社)	医療機器製造販売企業・専門商社との個別商談会参加事業所29社	H29.2	100%超	業務部		
			東京商工会議所との共催による受発注商談会への出展支援(参加事業所目標10社)	受発注商談会エントリー10社、受発注商談会参加事業所2社	H.28.4～H.29.3	20%	業務部		
		金融機関と連携した受発注商談会への出展を促し、販路拡大を支援(参加事業所目標10社)	常陽ものづくり企業フォーラム出展企業4社	H28.4～H29.3	40%	業務部			
		商取引支援サイト「サ・ビジネスモール」・当所が運営する情報サイト等の利用促進・周知	当所会報誌・ホームページ等で周知	H.28.4～H.29.3	100%	相談所・業務部			
		米国販路開拓支援サービスの活用による海外進出支援	無し	—	0%	業務部			
		当所プレスリリースサービス活用による広報支援	無し	—	0%	全部所			
II 地域経済			柏市中心市街地活性化事業の実施(柏市中心市街地活性化協議会)	大型店売上高調査・運営会議2回・総会・通行量調査	H28.4～H29.3	100%	中小企業相談所		
			柏まつりの運営による地域活性化	7/30・31柏まつり開催	H28.7	100%	全部所		

平成28年度柏商工会議所経営発達支援計画実施事業における

外部有識者による事業評価

- ・実施日時：平成29年6月15日（木）、16日（金）
- ・実施場所：東大柏ベンチャープラザ、東葛テクノプラザ
- ・外部有識者：独立行政法人 中小企業基盤整備機構関東本部 東大柏ベンチャープラザ
チーフインキュベーションマネージャー 中小企業診断士 原田 博文
公益財団法人 千葉県産業振興センター 東葛テクノプラザ
常務理事 所長 中田 裕之
- ・実施内容：①平成28年度柏商工会議所経営発達支援計画及び事業実施状況の説明
②上記①実施状況の確認。成果評価、見直しについて

〔外部有識者による事業評価結果〕

- (1) 事業全体の実施状況については、概ね良好である。
- (2) 各事業見直しの必要は無し。
- (3) 前年度の事業評価時に、伴走型支援の対象である小規模事業者の事業計画策定・策定後の実施支援を行い終了ではなく、対象小規模事業者が毎年計画どおりに事業実施出来ているかどうかを確認し、実施出来ていない場合は再度事業計画を策定支援することが望ましいと指摘したが、毎年度上記内容を繰り返すことで伴走型支援の精度が高くなる為、継続して欲しい。

また、対象小規模事業者の掘り起こしや支援件数を増やすことも必要だが、伴走型支援の基本的な進め方として、「小規模事業者の事業計画策定支援→策定後の実施支援→毎年度事業計画進捗状況チェック→計画どおりに事業実施出来ていない場合、再度事業計画策定支援→策定後の実施支援」というサイクルで伴走型支援を実施していくことが最も重要である。

- (4) 各事業の実施目標回数や支援小規模事業者数を増やす取組みも必要だが、小規模事業者に対する経営指導員等の支援スキルを継続的に向上させる方が結果的に良い伴走型支援が出来る。できれば、事業計画策定支援や実施支援・フォローアップの具体的な成功事例集を作成し、会報誌やホームページに掲載することで、新規相談者の掘り起こしや職員間の支援ノウハウ共有に繋がると思われる。
- (5) 新たな需要の開拓に寄与する事業（販路開拓等）の内、製造業の受発注に係る個別商談会事業については、当日の事業開催で終了ではなく、商談会に参加した小規模事業者のその後の受注・試作・見積り・NDA(秘密保持契約)に係る定期的・綿密なフォローアップが重要である。是非実施して欲しい。
- (6) 未着手の事業も若干有るが、経営発達支援計画を策定した時期から時間も経っており、時流でない事業内容も考えられる為仕方ない面も見受けられる。但し、事業形式とターゲットについて一工夫して実施した事業も有る為、実施事業として明確にしても良いのではないだろうか。
- (7) 指導・支援件数で年間目標に届かない項目も多少見受けられる。(3) では支援件数よりも伴走型支援の精度を上げることが重要であると指摘しているが、支援件数を増やす努力も必要である。
- (8) 経営発達支援計画とは直接関係は無いが、今後の柏北部地区の東京大学を中心とする整備計画を見ると、ナノテク・バイオ・AI・ゲノム関連や次世代素材分野の企業が進出することが考えられる為、今後柏に進出する企業と地元企業との連携やビジネスマッチング事業等を検討して欲しい。

以上